

2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [東浦町立藤江小学校] 担当教諭名 [水野 知己・桑田 元輝] (6年 73名)

相手国・地域 [フランス]

海外学校名 [Collège Saint Paul-Rezé] 担当教諭名 [Carel BAMA]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	世界の友達と国際交流 ～アートマイルを始めよう～	20
	学級活動	英語の自己紹介カードを送ろう	2
	図工	フランスの学校と壁画を共同制作しよう	3

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	わたしたちの文化遺産を守ろう
メッセージ (相手と一緒に 絵に込めた想い)	自分たちの国や地域の歴史的・文化的遺産にはこんなにすばらしいものがあると互いに紹介し合うとともに、それを自分たちの手でこれからも大切に守っていこうという思いを高める作品にしたい。



←日本で描いた部分

↑完成した絵

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・フランスに対する興味や関心が高まった。 ・夏休みの課題としたフランスについての調べ学習では、相手を知りたいという気持ちをもって、楽しんで取り組めた。 ・目的意識をもって、日本の歴史や文化について学習し、理解を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ会議やスカイプが使用できず、常時接続できる教室のネット環境もないので、担当教師が中心のやりとりになり、児童が主体的に関わることはできなかった。 ・総合的な学習の時間のカリキュラムや行事が従来のものであったので、時間の捻出に苦労した。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・国によって学校の様子や文化、暮らし方に違いがあることに気付いた。 ・英語が得意ではなくても、相手に知らせたい気持ちがあれば、進んで調べたり話そうとしたりできた。 ・自分の思いを相手に伝えるために、英語の力をもっと身につけたいと思うようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の相違点を考えることにより、自国の歴史や文化に対する興味や理解がより深まること分かった。 ・単語や文法の基本的な力はあっても、自分の思いや考えを英語で伝えるのは難しく、教師もコミュニケーション能力を高めなければならないと感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月 10月	・英語で書いた自己紹介カードをもった児童の写真を撮り、フォーラムにアップした。カードも相手校に送った。担任の自己紹介も行った。	相手に自分を知らせたいという目的意識から、カードに書く内容を真剣に考え、丁寧に英文を書いていた。	学活2
共有 テーマ学習	5月 ～ 11月	・日本の歴史や文化遺産について調べ学習を進めた。 ・修学旅行の班別研修先を各自で決め、見学したことをまとめた。	研修先で撮った写真やもらった資料を活用しながら、見学してきたことや自分で調べたことを工夫してまとめた。	総合20
融合 メッセージ 壁画デザイン	11月 12月	・フォーラムを通じてテーマを決定。 ・学校生活の様子や自国の文化遺産について写真と文で知らせた。 ・実行委員が下絵を描き、相手校に写真を送ってよいものを選んでもらった。	全員の活動ではなく、実行委員中心の活動となったため、授業時間ではなく、休み時間や授業後に行った。相手校が選んだ下絵に、実行委員全員の意見を付け加え、納得のいく下絵を完成させることができた。	時間外
創造 壁画制作	12月 3月	・tentシートに下書きをする。 ・着色をする。 ・完成した絵に桜の花びらを描き足し、卒業制作に充てる。	時間を区切って数人ずつ取り組んだ。相手校から届いた完成作品に、全員が順番に桜の花びらを描き足し、裏面にサインを書き入れた。これでやっと全員で仕上げた達成感もてた。	図工3
評価 振り返り 自己評価	3月	・卒業式の式場に飾った。	今年度初めての取り組みに喜んでもらった。	卒業式

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	3	修学旅行と関連づけて学習を進め、歴史や文化遺産について理解を深めたが、アートマイルのためにというわけではない。
異文化の理解	B	3	夏休み中に一人一人がテーマを決め、フランスについての調べ学習に取り組むことができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	2	スカイプやテレビ電話ができないので、児童自身がリアルタイムで相手校の教師や児童と交流できていない。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	2	調べ学習の際に本やインターネットを利用することはできたが、フォーラムにアップするのは教師の活動となった。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	B	2	壁画制作にあたり、学年学級で話し合い、分担して作業できた。相手校と児童同士ペアを組みたいと考えたが、実現しなかった。
協働する力 (役割分担・協力)	B	3	壁画制作について、相手校と半分ずつ分担して一つの作品を仕上げる喜びを感じる事ができた。
学習を追究する意欲	A	3	総合的な学習の時間の従来のカリキュラムや行事により、アートマイルの活動は細切れや単発になり、意欲も持続できなかった。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	B	3	壁画制作は実行委員が中心となり、意欲的に取り組めたが、全ての児童が意見を出したり関わったりできたわけではない。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	C	2	卒業式の会場に飾り、児童や保護者全員で鑑賞し、活動を振り返ることができたが、意見の交流は十分ではなかった。